

平成 26 年度
第三者評価結果 公表資料

特別養護老人ホーム

大慈弥勒園

【受審No.26-008】

公表内容

施設基本情報シート

外部評価結果

施設の見解

家族アンケート回収率 71.3%

一般社団法人神戸市老人福祉施設連盟

第三者評価制度評価委員会

神戸市老人福祉施設連盟 第三者評価【基本情報シート】

施設名	大慈弥勒園	定員	100名
設置・運営(法人名)	社会福祉法人 大慈厚生事業会	開設	平成8年4月1日
所在地	〒651-2235 神戸市西区櫨谷町長谷13-1	TEL	078-992-0065
交通アクセス	市営地下鉄「西神南駅」下車 徒歩約15分	URL	http://www.daijien.com

■法人の事業体制

1 同一法人内での実施事業			
通所介護、短期入所生活介護、居宅介護支援事業所、養護老人ホーム、ケアハウス、地域包括支援センター、保育園、母子生活支援施設			
2 介護・看護職員数等(短期入所併設の所は合算した数)			
●介護・看護職員1名に対する入所者	2.5	名	
●介護・看護職員平均勤続年数	5.6	年	
●介護・看護職員平均年齢	37	歳	
●人材確保と育成の方針			
毎春新卒採用及び中途採用による人材確保を行っています。育成方針は、法人理念である【All for one One for all】の精神に基づき、『誰からも愛され、協力できる職員』を目指し、独自の人事制度と施設内外の研修を毎月実施し育成を図っています。			
3 施設の方針・理念			
①『ふあっとほーむな生活を目指す』 ※ふあっとほーむとは、和みのある家庭的な雰囲気の中で、人と人とのつながりを大切にすること ②『一人ひとりが輝き、あなたが主役になる場所を目指す』			
4 施設の特徴			
施設内に診療所があり、医療が受けれる体制があります。認知症専門棟があり、重度の認知症者の受け入れができると共に、医療的ケアや看取りの体制があり、重度の方も受け入れていきます。			
5 ボランティア・研修・実習生の受け入れ			
(ボランティア) メイクや秋祭り等の行事ボランティアを受け入れています。 (研修) 別紙年間計画表の他に、キャリアアップ支援等、法人独自の研修体系の整備や外部研修にも積極的に参加しています。 (実習生) 福祉体験やワークキャンプ、とらいやるウィーク等、多種多様な実習生を受け入れています。			
6 地域との連携(施設開放、協同行事等)			
地域の保育園等の慰問や行事の参加及び施設内で地蔵盆を開催し、地域住民と交流しています。また、地域の祭りに出店する等、積極的に参加しています。			
7 居室形態			
●種類	<input checked="" type="checkbox"/> 従来型	<input type="checkbox"/> 個室ユニット型	
●料金	居住費	多床室320円 個室1150円	食費 1380円
8 家族との協力(家族会・行事への参加等)			
誕生日月に「家族食事会」、秋祭り、クリスマス会等の年間行事に参加して頂いています。また、ケアカンファレンスに出席を求めています。			

■サービス提供体制

入所条件
要介護度1～5の方。神戸市入所指針に則り実施。透析、IVH等の医療が常時必要な方は、受け付けていません。
施設内自由度
認知症専門棟及び3Fエレベーターは施設。テレビ等の持ち込みは一部可能です。
居室の環境
多床室19室、個室24室
外出などの自由
事前にフロアで受付。状況によって送迎・付添を実施しています。
身体拘束・虐待防止対策
法令遵守マニュアルを作成し、入職時及び年一回以上研修を実施しています。
食事
常食、ソフト食、スルー食、ミキサー食の多用な食事形態により、状態にあった食事ができます。
入浴
週2回実施しています。(一般浴、中間浴、機械浴)
排泄ケア
定時・随時のトイレ誘導及び、1日4回のおむつ交換を基本とし、褥瘡等があれば、おむつ交換の回数を増やします。
医療体制
診療所併設。 常勤医師(内科) 整形外科(週1回) 皮膚科(月2回) 歯科(週1回) 協力病院:みどり病院
ターミナルケアの実施
<input checked="" type="checkbox"/> 積極的に行う <input type="checkbox"/> 行う <input type="checkbox"/> 行わない
開設当初より、看取り介護を実施しています。
認知症ケア
認知症専門棟に固定職員配置しています。実践者研修・リーダー研修にも参加しています。
アクティビティ
音楽療法、くもん式学習療法、園芸療法を中心に、食事行事や外出行事にも力を入れています。

特別養護老人ホーム 大慈弥勒園

総合評価

- ◎ 長年の運営の蓄積が随所に感じられ、安定した事業運営を行っている。
- ◎ 施設長を中心とした組織形成がなされ、スタッフも若い職員や男性職員が多く、活気があった。
- ◎ 意識的に職員間のコミュニケーションを密にする事や、ホームページ等で施設情報を公表する事等で、風通しの良い、運営を目指している。

特筆すべき項目・取り組み

- ◎ 各種委員会を通じて職員の意向が運営に反映されている。
- ◎ 内部の研修会も多種に渡り実施され、ポイント制の導入や時間外手当の対応等、積極的な参加を促す工夫を行っている。
- ◎ 「オムツ外し」や「発表会」、シーツ交換の技術を競う「D1グランプリ」の企画等で、職員の目標やモチベーションを高め、施設の一体感を創造している。
- ◎ 併設の診療所を活用して、利用者の健康管理や緊急時対応が行えている。

改善が必要な項目・ポイント

- ◎ 建物の経過年数もあってか、一般棟に比べ認知症専門棟の居室等には少し寂しい印象が見られた。一部に傷みも見られ、補修等の必要がある。
- ◎ せっかくの良い取り組みもボランティアの活用等が少なく地域への浸透が薄いため、施設の持つ役割等を地域に発信できる様、地理的なハンデを克服して外部との関わりや社会資源の活用を増やしてもらいたい。

外部評価結果に対する施設の見解

この度、当施設が神戸市老人福祉施設連盟第三者評価を受審し、訪問調査員から総合的な所見を頂きました。頂きました所見を当施設で検討を行った結果は以下の通りです。

指摘頂きました点への対応のみならず、人材育成、安定した経営、サービスの質の向上をめざし奮闘していくこととします。

施設名 特別養護老人ホーム 大慈弥勒園

記入者 施設長

当施設の見解

今回初めて受審でしたが、評価結果の内容・改善点等、施設が抱える課題を一致していました。具体的には、①施設の老朽化と②ボランティアの活用です。

①については、中期計画で実行しており重要な箇所から実施しています。②は、27年度計画にも挙げており、活用していく次第です。

また、一番重要課題と思ったのは、ご家族からのご意見の中でもありました「介護職員確保と育成」についてですが、様々な手段を用いて改善に向けて頑張っていますが、十分な結果は出せていないのが現状です。

全ての職員が、「当たり前のことを当たり前でできる」職員の育成と、職員確保については、新たにEPA(経済連携協定)を導入することを検討しております。

このような内容で、施設サービスをさらに推進していき、ホームページを中心に結果は公表していきたいと考えています。